

# 議案質疑

全議案に対する質疑は、12月12日に行われ、3人の議員が17項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第80号

## 図書館への指定管理者導入

【議員】次年度から図書館運営に指定管理者制度を導入するようなどのような面が改善されるのか。

【教育次長】開館時間は前後1時間延長し午前9時から午後7時までとなる。図書整理の休館日も年4日に減るなど利便性が向上する。

【議員】自主事業の面でも事業者同様に質の高いサービスを提供しているにもかかわらず制度を導入する理由は何か。大切なのは人事異動等にも対応できる市業務全般のノウハウを蓄積するシステムづくりではないのか。

【総務部長】地方分権により多くの事務が国県から移譲されている。職員は行政本来の事務に従事し市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入するものです。

議案第87号

## 通学用ヘルメット助成事業

【議員】今回、ヘルメット助成事業費が計上されている。自転車通学する中学生の安全確保にはヘルメットは欠かせず、県内で導入していないのは本市とあと1市であった。導入経過等を聞きたい。

【教育長】ヘルメットの導入は、ある保護者の声と筑西警察署からの要望がきっかけとなり、中学生による交流集会（虹色ネットワーク）で、導入の是非を子供たち自身が話し合った。また、青少年育成市民の会など17団体からの着用要望やPTA連絡協議会からの購入時の補助要望等もありヘルメットの導入を決めた。購入時は2千円の助成を考えている。



通学用ヘルメット

議案第95号

## 市民病院の現状認識を

【議員】今回、一般会計から5千5百万円の補助が予定されている。病院経営は①経営形態②医師の確保③人口規模と国県補助等により左右されるものと考ええる。現在の市民病院は、公設公営、職員の人件費が医業収益を上回る状況で、毎年一般会計から多くの補助を受けている。また、今年度は医師の退職により医業収益が当初見込みより2億円も減少している状況であり、次年度はさらなる医師数の減が見込まれており、仮に五、六名の常勤医となった場合、病院経営は危機的状況となるのではないかと。新中核病院建設を考えたとき、先行して市民病院を無床診療所とするなど、本市の財政状況も十分考えて進めるべきではないのか。

【病院事務部長】常勤医師は当初10名を見込んだが医師の退職により12月は7名となった。医師数の減少が診療の縮減につながり医業収益を減少させたものと考ええる。

【市長】病院の現状等は十分認識している。今後、新中核病院建設にあわせ検討してまいりたい。

## 人事紹介

### 人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員1名が任期満了となるため、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求められ、次の方の推薦に同意しました。

中野 治郎（新任）

筑西市藤ヶ谷1348番地4

### 議会改革特別委員会

◆本格的な審議が始まる◆

市民に開かれた議会運営を目指し、昨年9月に設置された当委員会では、本格的な審議が開始されており、7つのテーマを設定し、そのテーマごとの検討事項を一つ一つ、全議員22名が審議していきます。

審議経過につきましては、今後、この議会だよりに掲載いたします。

また、市民の皆さまのご意見や要望等を把握するため、新年度にはアンケート調査を実施する予定でありますので、ご協力よろしく願います。